研究開発プロジェクトのダイバーシティを進めるために

アンケート実施期間：平成29年12月8日（金）～12月31日（日）

研究の質の向上や、研究成果のイノベーションへの展開には「ダイバーシティの視点を盛り込むことが効果的」と言われており、この観点から女性の参画をもっと増やしていくことが望まれます。平成28年度総務省統計の発表によると、日本の研究者における女性比率は15.3%ですが、科学技術振興機構（以下「JST」という。）が実施する戦略的創造研究推進事業への応募件数及び採択件数に占める女性の割合は、以下の通りでこれを下回っています。

平成29年度の制度毎の女性比率

	応募件数	採択件数
CREST	5.9 %	1.9 %
さきがけ	9.6 %	12.3 %
ACT-I	6.7 %	13.3 %

JSTは公的資金による研究開発プロジェクト等への女性研究者の参画を拡大させるために、女性応募者を増加させるキャンペーンを実施したり、研究者がライフイベントの際にも研究を継続できるサポートをするなど、様々な取り組みをしていますが、更なる取り組みを検討するためにアンケートを実施いたします。
分野や年代、性別等を問わず、ぜひ皆様の忌憚のないご意見をお聞かせください。
多くの回答のご協力をお願いいたします。
※いただいた情報は厳重に管理した上で公的資金による研究開発プロジェクト等の参考として使用することとし、その他の目的には使用いたしません。

回答者情報

1. 所属セクター (必須)

- 国立大学
- 公立大学
- 私立大学
- 大学共同利用機関
- 国立研究開発法人等
- その他の公的研究機関
- 民間企業（研究開発職）
- 民間企業（研究開発職以外）
- その他(具体的に)

2. 職制 (必須)

- 経営者（役員・理事相当・大学の学部長相当以上）
- 教授
- 准教授
- 講師
- 助教
- ポスドク
- 部長以上
- 課長
- 主任
- 役職なし
- その他(具体的に)

3. 年代 (必須)

- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以降

4. 分野 (必須)

- 環境・エネルギー
- ライフサイエンス
- ナノテクノロジー・材料
- システム・情報科学
- 人文科学
- 社会科学
- その他(具体的に)

5. 性別 (必須)

- 女性
- 男性
- その他

6. 婚姻等について (必須)

- 単身
- 配偶者・パートナーあり

7. 養育する子の有無について (必須)

- なし
- 1人
- 2人
- 3人以上

質問：全15問（自由記載あり）

1. JSTの研究開発プログラムに応募したことはありますか。 (必須)

- ある
- ない

2. 1.で「ある」と答えた方、制度名をご記入ください。

3. JSTの研究開発プログラムに採択されたことはありますか。 (必須)

- ある
- ない

4. 3.で「ある」と答えた方、採択された制度名をご記入ください。

5. JSTの制度を含む公的資金による研究開発プロジェクト等に関し、女性であることが採択 に不利になると感じたことはありますか。 (必須)

- ある
- ない
- わからない

6. 5.で「ある」と答えた方、理由は何ですか。（複数回答可）

- 審査委員に男性が多く、女性が適正に評価されないと感じるため
- 女性の研究実績が少なく、男性中心のプロジェクトと感じるため
- 出産・育児等への対応で充分に研究ができるかについて審査委員が不安視するため。
- 人脈中心に採択されていると感じるため
- その他(具体的に/100字以内)

7. JSTの制度を含む公的資金による研究開発プロジェクト等に関し、「出産・育児等によって 十分な研究開発時間が取れない」という理由で応募を見送ることはありますか（ありましたか）。 (必須)

- 見送ることはない（なかった）
- 資金規模の大小により見送る（見送った）（※少額のプログラムには応募するが、大型の研究開発資金への応募は見送る、等）
- 資金規模の大小にかかわらず見送ることがある（あった）

8. 公的資金による研究開発プロジェクト等において「女性枠(※)」を設けることについてどう思います か。 (必須)

※識等で採択される申請者（研究代表者）に、女性採択枠を設けること。

- 賛成
- 反対
- いずれでもない

9. 「女性枠」を設定する場合はどのように運用するべきかをお答えください。（複数回答可） (必須)

- 公募時に、積極的に「女性枠」であることを打ち出した方が良い
- 公募時に「女性枠」であることは前面に出さずに審査段階で考慮すれば良い
- 「女性枠」で採択する基準は下げず、結果として採択がない場合も可とする
- 採択基準に多少満たなくても毎回一定数は採択する
- 「女性枠」のために男性が不利にならないようにする
- その他(具体的に/100字以内)

10. 8.で「反対」と答えた方、理由は何ですか。（複数回答可）

- 平等でない
- 採択されても周囲の目（評価）が気になる
- 既に女性の参画を増やすための対応が充分取られている
- その他(具体的に/100字以内)

11. 「女性枠」以外に女性の応募件数を増やすために効果的なことはありますか。（3つまで） (必須)

- 審査の過程をもっとオープンにする
- これまでにない新しい研究領域（含、新しい分野や分野融合等）を設定する
- 若手中心の研究開発プログラムを作る
- 国際共同研究の機会を増やす
- 研究以外の業務（例：授業や各種委員等）を減らす
- 審査委員に女性を増やす
- 男性向けの意識改革セミナー等の開催
- 男性の育児等への参加が促進されるような仕掛け（例：育休取得時の研究費増額等）
- 出産・育児等のための費用の負担
- 広報活動
- その他(具体的に/100字以内)

12. 女性のトップサイエンティストを育成するために効果的と思われる方策はどれですか。（複数回答可） (必須)

- これまでにない新しい研究領域（含、新しい分野や分野融合等）を設定する
- 若手中心の研究開発プログラムを作る
- 国際共同研究の機会を増やす
- 若いうちに海外に出て経験を積む
- メンター制度・コーチング等
- トップサイエンティストのロールモデルの提示
- その他(具体的に/100字以内)

13. 公的資金による研究開発プロジェクト等の審査委員を依頼されたら受けますか。 (必須)

- 全て受ける
- できるだけ受ける
- できるだけ断けない
- 受けない
- その他(具体的に/100字以内)

14. 現在引き受けている外部委員（種類は不問）の数をお答えください。 (必須)

- 0
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6以上

15. その他のご意見（自由記載）

※200字以内

このアンケートに関するお問合せ先

科学技術振興機構 人財部ダイバーシティ推進室　diversity@jst.go.jp

確認　クリア

Copyright(C) 2016 Japan Science and Technology Agency. All Rights Reserved.